

第15回テーマ展示

中原中也の 散歩生活

2018年2月15日(木) - 2019年2月17日(日)

※特別企画展期間(8月2日(木) - 9月24日(月・祝))を除く



ぼけつとに手を突込んで
路次を抜け、波止場に出でて
今日の日の魂に合ふ
布切屑をでも探して来よう。

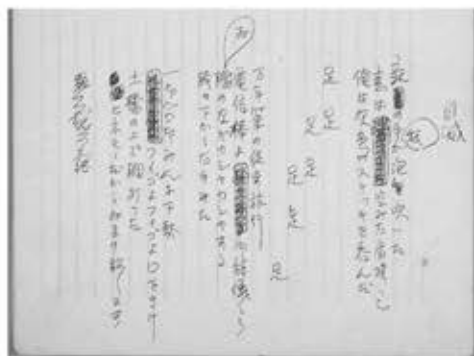
中原中也「秋の一日」より

中原中也の 散歩生活

中原中也は、昼に起床し、深夜まで街中を歩き続け、帰宅したのち本を読んだり詩を書いたりする生活を送っていました。部屋にこもるのではなく、街をあてもなく歩きまわり、歩きながら世界を肌で感じ、そこから作品を生み出していったのです。その身体性は詩に生き生きとした躍動感を与え、歩くことをテーマにした魅力的な作品へと結実していきました。その背景には、中也が好んだフランスの詩人・ランボオの作品の影響があると言われています。

本展では、中也が歩いた当時の街並みなども紹介しながら「歩く」という行為と詩作の関係に迫ります。

新宿大通り（戦前の絵葉書より）



中原中也 原稿「自滅」（「ノート1924」より）



中原中也訳『ランボオ詩集』表紙には、ヴェルレーヌが描いたランボオの歩く姿が使用されている。



中原中也 散文原稿「散歩生活」

【入館料】
一般320円(270円) 大学・高等専門学校の学生210円(162円)
70歳以上、18歳以下無料 ※()内は20名以上の団体料金

【開館時間】
5月-10月●9:00-18:00(入館は17:30まで)
11月-4月●9:00-17:00(入館は16:30まで)

【休館日】
毎週月曜日(祝日の場合は翌日、10月22日は開館)、毎月最終火曜日
年末年始(12月29日-1月3日)、展示替え休館(4月17日、8月1日、9月26日)

中原中也の 散歩生活

よういた。



安原喜弘宛中原中也書簡(昭和5年5月9日)
〈月があままりよかつたし、夜気と埃は青猫のやうに感じられる江戸川沿ひの道を、随分歩いた。〉という記述がある。
[当館 安原喜弘文庫]

【主催】
公益財団法人山口市文化振興財団

中原中也記念館

Nakahara Chūya Memorial Museum

〒753-0056 山口県山口市湯田温泉1-11-21

Tel. 083-932-6430 Fax. 083-932-6431

URL: <http://www.chuyakan.jp/>

E-mail: chuyakan@c-able.ne.jp

